

家畜・畜産物GAP

農場運営

食品安全

環境保全

労働安全

人権・福祉

家畜衛生

アニマルウェルフェア

GAPとは… Good Agricultural Practice の略。
直訳すると「良い・農業の・やり方」となり、
農場運営、食品安全、環境保全、労働安全、人権・
福祉などの持続可能性を確保するための取組のこと

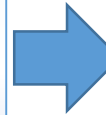
Q.1

アニマルウェルフェア (AW) って何ですか？

A.1

「快適性に配慮した家畜の飼養管理」を意味しており、GAPの対象項目にも含まれています。快適性の指標として、以下の5つが挙げられています。

- ① 飢え、渇き、栄養不良からの自由
- ② 恐怖及び苦悩からの自由
- ③ 身体的および熱の不快感からの自由
- ④ 苦痛、傷害及び疾病からの自由
- ⑤ 通常の行動様式を発現する自由



もっと具体的に
言ってくれ
ないと、よくわ
からないなあ

Q.2

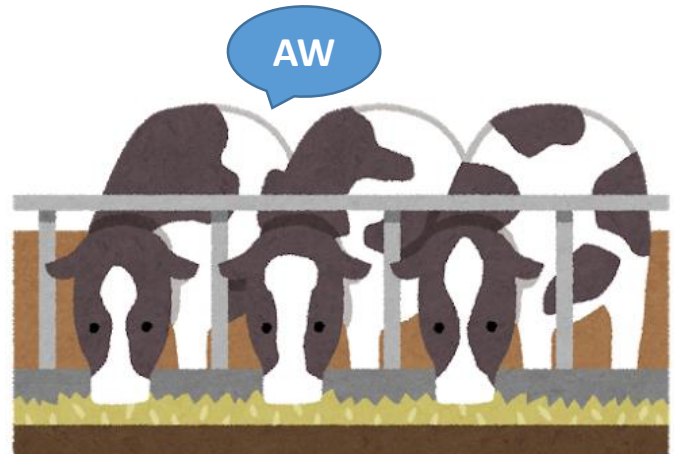
何をすればアニマルウェルフェアを実践していると言えるんですか？

A.2

現在、皆さんが行われている日常管理はすべてアニマルウェルフェアに結びついています。そのため、既の実施している技術もありますが、飼養管理指針に基づき、不足している管理を確認し実践できれば、より良い農場運営が可能になります。

【実践例】

- ① 新鮮な水を十分な量給与している
(渇きからの自由)
- ② 牛に手荒な取扱をせず、日頃から丁寧
に接している
(恐怖からの自由)
- ③ 牛が困難なく横になったり、立ち上
がったりできる
(通常の行動様式を発現する自由)



常に飼槽にエサがあることも大事
(飢えからの自由)

Q.3

アニマルウェルフェアに取り組むメリット・デメリットは？

A.3

メリット：これをきっかけに自農場で不足していることを確認し、改善することで生産性の向上につながります。
 デメリット：コストを伴う場合があります。

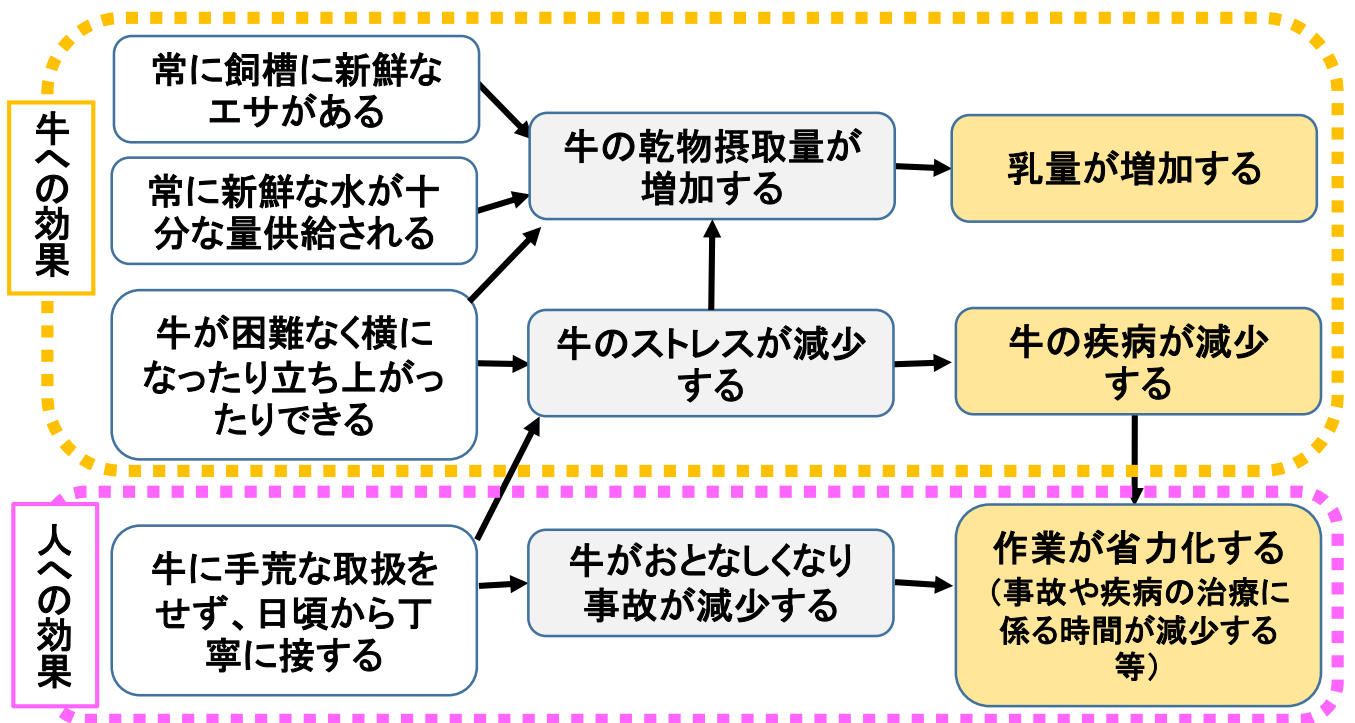


図 アニマルウェルフェア実践により得られる効果の例

令和5年7月、農林水産省がアニマルウェルフェアの指針を定めました。

近年の消費者の農業への関心の高まりや畜産物の輸出拡大等が背景にありますが、何より実践技術そのものが家畜のストレス軽減や健康へと繋がり、結果として農場運営の持続、更に今後の酪農産業の発展を見据えた重要な取り組みと考えます。



放牧を取り入れることも一つの手法です。

☆牛にも人にもメリットがあるアニマルウェルフェアに取り組んでみませんか？

お問い合わせ先

宗谷農業改良普及センター 本所(中頓別町) 電話:01634(6)1414
 宗谷北部支所(豊富町) 電話:0162(82)2119



過去のGAP情報はHPで！